

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県

青森県

行 事 名 称	第 67 回文化財防火デー 文化財火災防ぎょ訓練
実施期間・日時	令和3年1月23日(土) 10:00~10:30
実 施 場 所	大円寺 大鰐町大字蔵館字村岡12番地
主 催 者	大鰐町教育委員会、大鰐町消防団、弘前地区消防事務組合

■実施内容

訓練の想定

令和3年1月23日(土)午前10時頃、大日堂拝殿で何らかの原因により火災が発生し、国指定の重要文化財である阿弥陀如来坐像への延焼危険があり、状況確認のため大日堂拝殿に向かった寺院関係者が大日堂拝殿内に参拝者が倒れているのを発見する。

訓練の内容

通報訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練、指揮活動訓練、救急搬送訓練、火災防ぎょ訓練

参加者及び役割分担

東消防署南分署(19名)…現場指揮、消火隊、救急隊
 大鰐町消防団(22名)…消防団本部、消火隊
 大円寺自衛消防団(5名)…通報、初期消火、避難者誘導
 黒石警察署大鰐交番(2名)…交通整理
 大鰐町役場・大鰐町教育委員会(9名)…各種申請書届出、訓練準備、現場アナウンス

特に工夫した点

各組織の事前の打ち合わせに十分時間を割くことによって連携がしっかりとれるように配慮した。また、町内消防団が毎年ローテーションで訓練に参加し、町全体が文化財保護意識を高められるようにした。

問題点・課題

新型コロナウイルス防止対策として、予定を変更し女性消防隊の救護活動を行わなかった。貴重な訓練の機会なので、来年度はぜひ実施したい。

その他

コロナ禍の中、火災防ぎょ訓練が実施できたことは地元消防団の意識向上につながった。今後も継続して計画実施することが重要である。

訓練風景

